

# 通常学級における特別支援教育

通常学級にいる、支援を必要としている子どもたちに対して、私たちは何を大切にしていけばよいのでしょうか？

## 生徒指導と特別支援教育

生徒指導に特別支援教育の視点を取り入れると、子どもについての理解が深まり、生徒指導が充実します。

### 子どもの言動には要因があります

#### 一見、無気力に見えるが…

何をして良いのかがわからなくて、自信を持ってないのかもしれない。



しようと思っても、何かの困難さがあって、できないのかもしれない。

#### 一見、問題行動に見えるが…

きまりの意味がよくわからないので、きまりを守らないのかもしれない。



相手の立場や気持ちを考えるのが苦手なので、すぐカーツとなるのかもしれない。

## 学習指導と特別支援教育

学習指導を進める際には、子どもの理解の仕方に即した、適切な指導が大切です。努力をしても、学力が伸びないが…

聴いて理解するのが苦手な子どももいます。  
見て理解するのが苦手な子どももいます。

最初に、全体を示してから説明していく方が、わかりやすい子どももいます。

一つ一つ順番に説明する方が、わかりやすい子どももいます。

具体的な指導法については、岡山県総合教育センターホームページに掲載しています。  
<http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/chousa/kiyou/index.htm>

岡山県教育委員会

問合せ先:岡山県教育庁指導課特別支援教育室 [http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=147](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=147)



# 通常学級での特別支援教育 **3**つの観点

## 温かい学級づくり

### 1 一人一人の子どもが目的意識を持てる。

- ・居心地の良い学級
- ・安心できる学級
- ・安全に過ごせる学級

### 2 つながりがある。

- ・子ども同士のつながり
- ・子どもと教師のつながり

### 3 自己肯定感が高まる。

- ・自分の役割がある
- ・人に認められる経験
- ・人の役に立つ経験



## 学びやすい授業づくり

今日は、どんな勉強をするの？

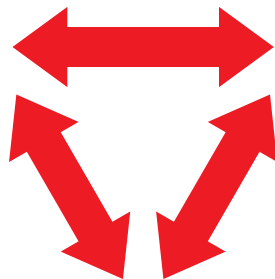
どうやってするの？

何ができればよいの？



### 授業づくりのポイント

- ① 学習過程が明確である。
  - ・学習過程を提示する。
- ② 自分の力を発揮できたり認められたりする活動がある。
  - ・子どもの実態にあった教材、教具を工夫する。
- ③ 「できた」「わかった」と自覚できる場がある。
  - ・スモールステップで課題を設定する。



## 必要に応じた個への支援・適切な指導

### 個への支援の種類

◎学級担任による支援

◎支援員、T・Tなど複数による支援

◎指導の場を変えた支援

### ① 支援は「出し入れ」が重要

必要に応じて、支援を行ったり、減らしたりする「出し入れ」をしましょう。支援が減ってもできるという自信を持つことが大切です。

### ② 個別対応のポイント

- ・子どもの気持ちを把握して、安定する状態を作る。
- ・注意だけで終わらず、どうすればよいのか、具体的に示す。
- ・子どもが自ら動き出せるきっかけを作る。
- ・必要に応じて支援し、適切に指導して「できる」「やれそう」と子どもが実感できるようにする。
- ・認め、励まし、本人の自信を増やして、少しずつ支援を減らしていく。

校内の組織や外部の専門機関と連携して、チームで取り組んでいくことが大切です。

**夢を持ち、めあてを持って、意欲的に学べる子どもに育てます。**